

環境保全に関する取り組み

TDKは、環境保全への取り組みを新中期計画「Exciting108」の重要課題のひとつとして位置付け、環境マネジメントシステムの構築（ISO14001）を含め、次のような活動を続けています。

ゼロエミッションへの取り組み

次世代に豊かな資源を残すため循環型社会の形成と地球資源の有効活用が提唱されています。TDKでは、循環型（クローズドシステム）工程の推進など、徹底した生産工程の見直しによるゼロエミッションへの努力と、またやむを得ず発生した廃棄物の再使用と再資源化を進めています。

省エネルギー推進

TDKは、1990年比で2010年までにCO₂排出量を25%削減する自主推進目標を掲げ、エネルギー管理体制の構築を推進しています。

環境負荷物質の低減と環境配慮型製品の開発

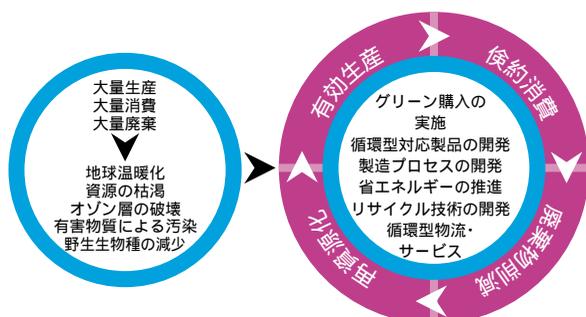
製品の原料調達から最終廃棄までの環境負荷を定量的に把握、評価する手法であるLCA（ライフサイクルアセスメント）の導入を視野に入れたデータベース作りを進めています。また、環境配慮型製品として、鉛フリーはんだ対応製品化や製品の鉛フリー化も継続的に行っています。

グリーン購入の促進

日本では、去る4月に官公庁に対するグリーン製品（環境配慮型製品 購入に関する法律が施行されましたが、TDKでは「TDKグリーン購入ガイド（オフィス編）」を発行し、全社的に新規購入のオフィス用品はグリーン製品にするなどの活動を促進しています。

環境会計の導入と情報公開

去る4月から「TDK環境会計マニュアル」に基づき、三隈川工場をモデルサイトにして環境会計の導入を開始しました。また、2002年3月までに他の事業所・工場への水平展開を図ります。また、社会への情報公開と社内の啓蒙を図るために、毎年環境報告書を発行しております。



資源消費型社会

資源循環型社会の構築

